

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【公表番号】特表2007-509987(P2007-509987A)

【公表日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-015

【出願番号】特願2006-538418(P2006-538418)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 K	31/4745	(2006.01)
C 1 2 N	5/06	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/04	
A 6 1 K	31/4745	
C 1 2 N	5/00	E

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月30日(2007.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

好中球を活性化するのに効果的な量のT L R 8 - 選択的作動薬であるI R M化合物に好中球をインピトロで接触させるステップを含んでなる、好中球をインピトロで活性化する方法。

【請求項2】

前記T L R 8 - 選択的作動薬であるI R M化合物が、置換イミダゾキノリンアミン、テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、イミダゾピリジンアミン、1,2-架橋イミダゾキノリンアミン、6,7-縮合シクロアルキルイミダゾピリジンアミン、イミダゾナフチリジンアミン、テトラヒドロイミダゾナフチリジンアミン、オキサゾロキノリンアミン、チアゾロキノリンアミン、オキサゾロピリジンアミン、チアゾロピリジンアミン、オキサゾロナフチリジンアミン、またはチアゾロナフチリジンアミンを含んでなる、好中球を活性化するI R M化合物である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

T L R 8 - 選択的作動薬であるI R M化合物を含んでなる、好中球を活性化するための医薬組成物。

**【請求項4】**

前記TLR8-選択的作動薬であるIRM化合物が、置換イミダゾキノリンアミン、テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、イミダゾピリジンアミン、1,2-架橋イミダゾキノリンアミン、6,7-縮合シクロアルキルイミダゾピリジンアミン、イミダゾナフチリジンアミン、テトラヒドロイミダゾナフチリジンアミン、オキサゾロキノリンアミン、チアゾロキノリンアミン、オキサゾロピリジンアミン、チアゾロピリジンアミン、オキサゾロナフチリジンアミン、またはチアゾロナフチリジンアミンを含んでなる、好中球を活性化するIRM化合物である、請求項3に記載の医薬組成物。

**【請求項5】**

局所、静脈内、筋肉内、経皮、皮下、または、経粘膜投与用医薬組成物である、請求項3に記載の医薬組成物。

**【請求項6】**

前記TLR-8選択的作動薬であるIRM化合物が、2-プロピルチアゾロ[4,5-c]キノリン-4-アミン、4-アミノ-2-(エトキシメチル)-, -ジメチル-6,7,8,9-テトラヒドロ-1H-イミダゾ[4,5-c]キノリン-1-エタノール、N-[4-(4-アミノ-2-エチル-1H-イミダゾ[4,5-c]キノリン-1-イル)ブチル]メタンスルホンアミド、1-(2-メチルプロピル)-1H-イミダゾ[4,5-c]キノリン-4-アミン、N-(2-{2-[4-アミノ-2-(2-メトキシエチル)-1H-イミダゾ[4,5-c]キノリン-1-イル]エトキシ}エチル)ヘキサデカンアミド、またはN-{2-[4-アミノ-2-(エトキシメチル)-1H-イミダゾ[4,5-c]キノリン-1-イル]エチル}メタンスルホンアミドである、請求項3に記載の医薬組成物。